

研究実施のお知らせ

研究課題名：harmonic scalpel(以下 HS)を用いた子宮頸部円錐切除後の周産期予後の検討
研究期間：倫理審査委員会承認後～平成 30 年 4 月 30 日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2010 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日の間までに子宮頸部上皮内病変の診断かつ当院で子宮頸部円錐切除術を施行した中で下記の条件をともに満たした方

- ・子宮頸部円錐切除術を施行した年齢が 40 歳以下の方
- ・当院で妊娠管理を行った方

【研究の目的と意義】

HS を使用した子宮頸部円錐切除後の周産期予後は未だ実態が把握されていません。本研究によりその知見を得ることで、子宮頸部上皮内病変を持つ患者の治療選択や周産期予後に寄与する可能性があります。

【研究の方法】

2010 年から 2012 年の間までに子宮頸部上皮内病変の診断かつ当院で子宮頸部円錐切除を施行した 40 歳以下の症例を対象とし、その後の妊娠・分娩歴を後方視的に検討します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（検査データ、病理検査結果、診療記録等）・アンケート等を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、単施設研究として実施されます。

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 産婦人科

医員 大塚 康二（当院の研究責任者）

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）